

2024年度 埼玉県連合支部お花見会

2025. 4. 3(木)

主催幹事 さいたま支部

4月3日に、昨年に続いて埼玉県連合支部第2回お花見会を行いました。

熊谷駅 → 熊谷桜堤入り口～土手沿い 散策 → 熊谷南小学校横
→ 片倉シルク記念館見学 → 星溪園見学 → 星川通り → 懇親会会場

さいたま支部、川越支部、秩父支部、行田支部から、奥様1名を含め13名が参加しました。

今年は、慎重に開花予想を調査し、4月3、4日頃が満開との情報をもとに、4月3日に設定しました。3月26～28日が夏日となって以降急に気温が低い日が続いたため、開花が遅くなり、当日の気温も10度でダウンジャケットを着ての花見となりました。時々小雨がぱらつくことがありましたが、ほとんど傘を差さずにすむ程度ですみ、桜は5部咲き程度でしたが、菜の花が咲き誇り、熊谷桜堤の桜と菜の花のコラボを楽しめました。



熊谷桜堤にて

片倉シルク記念館は、片倉工業の最後の製糸工場であった熊谷工場(平成6年閉鎖)の繭倉庫を利用し、工場で使用されていた製糸機械や生糸ができるまでの過程、工場内での生活等が紹介されています。(なお、昭和14年に譲り受けた富岡製糸工場は昭和62年まで操業をしていました。)

当日は会場の案内係の方に、由来、機械、や工程について、わかりやすく説明していただき、有意義な時間となりました。



片倉シルク記念館にて

左後ろから 畝(45E) 金澤(52S) 長谷川(52P) 麻生(53W) 竹内(45S) 松原(修 56C) 森本(54C)
井上(修 56L) 長谷川奥様 長島(修 51C) 岡田(45M) 小西(修 49C) 大竹(54L)

続いてまわった星溪園は、池の周囲に通路を巡らし園内を回遊しながら観賞できる池泉回遊式庭園で、中に数寄屋造りの3つの建物があり、とても落ち着いた和の雰囲気的空間を楽しめました。

【懇親会】蔵之介 熊谷店にて (お花見の会参加の13名全員が参加)

約2時間の見物・見学を終え、予定より少し遅れ16時過ぎから懇親会となりました。

行田支部から2名の参加があり、自己紹介を含め、近況を紹介していただきました。

まだ70才になっても週5日の勤務をされている人、多くの趣味活動、ボランティア活動に参加されている方々も多く、皆さんとても元気です。畝さんは、能の謡を披露してくれました。会話も盛り上がり、予定の2時間を越え、19時にお開きとなりました。

さいたま支部長 小西憲二(修49C)